

2. 流域及び河川の概要

下弓削川・江川の上流域は高良山にかかり、筑後川の沖積平野を流れて、筑後川に注ぐ一級河川である。

下弓削川流域は、山間部を除いてほとんどが都市化されており、特に下流部では九州縦貫自動車道久留米 IC を控えていることから商工業施設が集中している。江川流域は、下流部のほとんどが圃場整備された農地で稲作が盛んに行われ、河川水は農業用水として利用されている。

下弓削川・江川の氾濫域は、西側（筑後川下流方向）、南側の地盤高が高くなっており、下弓削川・江川からの氾濫流は拡散せず、河川周辺に湛水する氾濫形態となっている。

下弓削川下流端には枝光排水機場、江川下流端には江川排水機場があり、出水時の筑後川本川水位が高い場合には水門等を閉め、必要に応じてポンプにより筑後川本川へ排水している。

以下に下弓削川と江川の諸元を示す。下弓削川の流域面積は 5.0km²、河川延長は 2.1km となっており、筑後川左岸 30.8k 付近に流入する。江川の流域面積は 4.7km²、河川延長は 1.5km となっており、筑後川左岸 32.8k 付近に流入する。

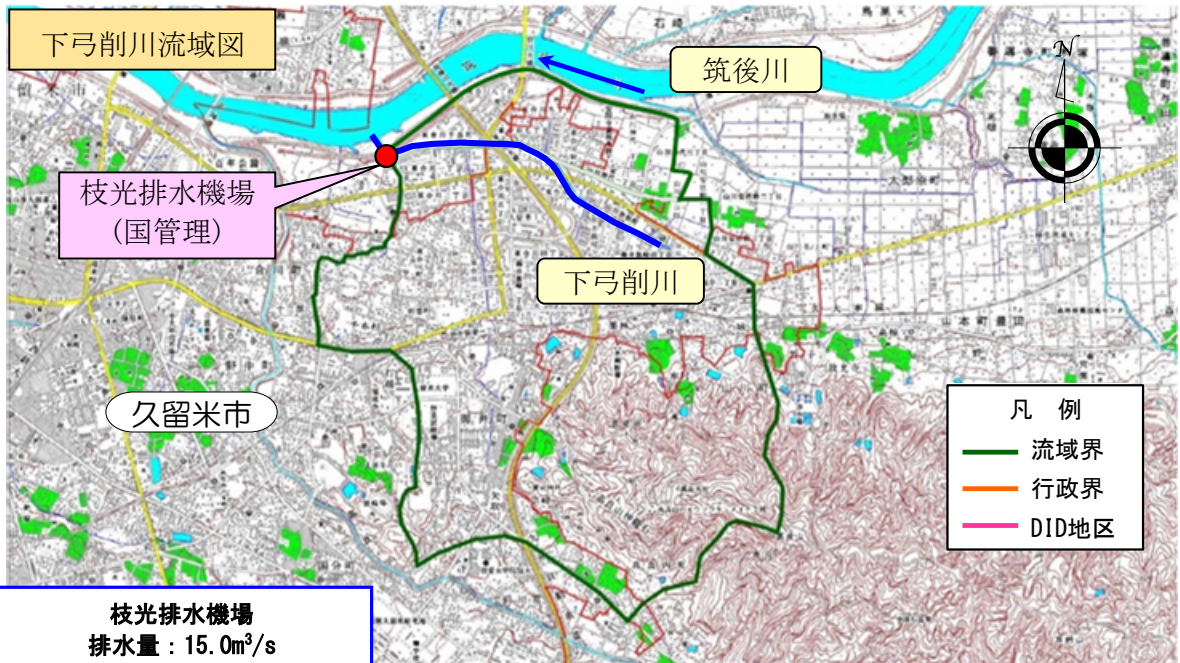
表 2-1 下弓削川・江川の河川諸元

河川	流域面積	河川延長	合流先
下弓削川	5.0km ²	2.1km	筑後川左岸 30.8k 付近
江川	4.7km ²	1.5km	筑後川左岸 32.8k 付近

筑後川流域図



下弓削川流域図



枝光排水機場
 排水量：15.0m³/s
 (5.0m³/s×3台)
 元村水門
 諸元：B6.8m×H4.3m×3門



図 2-1 対象区域の位置図(下弓削川)

筑後川流域図



江川排水機場
 排水量：6.0m³/s
 (3.0m³/s×2台)
 神代樋管
 諸元：B2.7m×H2.7m×2門



図 2-2 対象区域の位置図(江川)

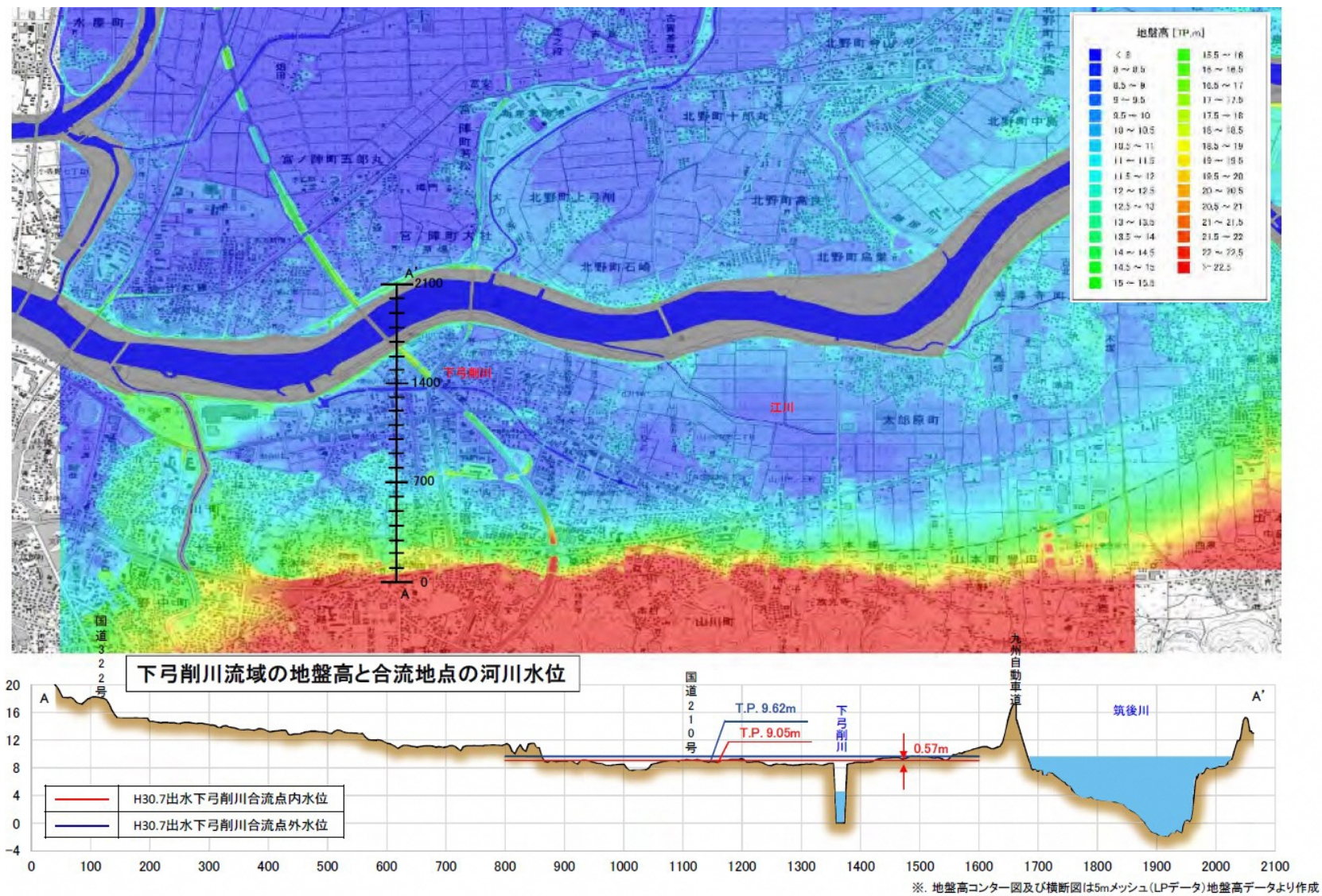
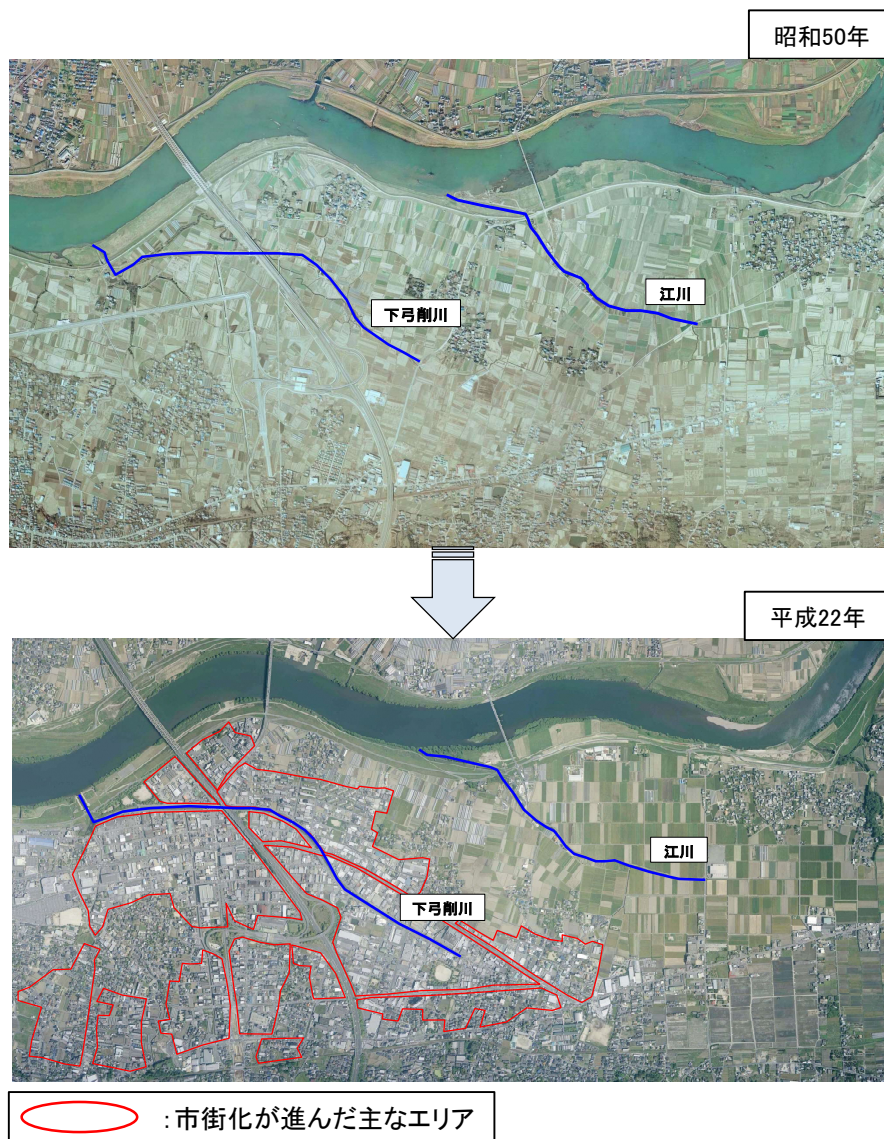


図 2-3 下弓削川・江川流域の地盤高分布図

下弓削川流域の土地利用の変化を見ると、昭和50年と比較して平成22年は流域西側を中心として大きく市街化が進んでいる。

江川流域では、一部建物の増加もみられるものの、大きな変化はない。



出典：国土地理院

図 2-4 下弓削川・江川流域の土地利用状況の変遷